

緊急  
特集 対談

丸山一郎氏 (埼玉県立大学教授) × 金子鮎子氏 ((株) ストローク代表取締役)  
障害者自立支援法の光と影



## 特集2 インタビュー

突然の事故で、目に見えない脳に起こる  
障害を知っていますか？

～『高次脳機能障害』の現状

この街で、一緒に生きていく。  
障がい者のクロネコメール便配達

障がい者雇用を進めるために  
STEP by STEP

ハートフルステーション

YWF TOPICS

月8万円の賃金を得る人も  
2年後には会社設立を目指す「しごとも」

一人でも多くの一般就労を目指す  
ヤマト自立センター  
『スワン工舎新座』始動!

東京支部

# 支援法の

緊急特集 対談

# と影

今年4月より施行された「障害者自立支援法」。旧制度からの移行は徐々に始まっていますが、多くの期待と不安が入り交じっています。多くの「障害者自立支援法」は果たしてどのような未来を生むのか。福祉政策にも詳しい埼玉県立大学の丸山一郎教授と、障がい者雇用の現場から株式会社ストロークの金子鮎子代表取締役に語っていただきました。



プロフィール  
株式会社ストローク 代表取締役  
金子鮎子 氏

NHK在職中から、精神障がい者の話し合いの場「日曜サロン」を作り、心の病を持つ人々やその家族の支援活動に取り組む。退職後、精神障がい者を雇用し清掃事業などを展開する(株)ストロークを1989年に設立。就労支援の活動を続けている。(株)ストロークの活動は広がりを見せ、作業所が発展して誕生した精神障害者小規模通所授産施設「オフィスクローバー」、障がいを持つ人たちの自立と社会参加を支援するNPO法人「ストローク会」と連携。現在では、「オフィスクローバー」でも利用者によるクロネコメール便配達事業やヤマト運輸(株)と連携した企業内通所授産事業に積極的にトライしている。第1回ヤマト福祉財団賞受賞。



作業風景 (オフィスクローバー)

# 障害者自立

# 光



**丸山一郎氏**  
(埼玉県立大学教授)

**金子鮎子氏**

(株) ストローク代表取締役

## 障がい別の垣根を 取り払う試み

まず、「障害者自立支援法」について、どのように評価されていらっしゃるでしょうか

金子…私は障がい者が働いている会社の社長という立場ですけれども、そういう面から言うと、働いている障がい者にとってこれまでの施策は十分ではありませんでした。特に精神に障がいを持つ人に対しては、

自立支援法が、障がい者も高齢者も含めて、不自由を持つ人の福祉を、

もっと厚くしていくという意味では前進と思っています。これを契機にして、障がい別ではなく、一つの大きな枠組みで福祉を考えることができるようになってほしいと。

丸山…今度の支援法のプラスと言われている面は、金子さんがおっしゃられている「障がい種別をなくした」という点。特に精神障がいの方の施策を出してきたという点に関しては、プラスと言えると思います。二つめに言えるのが、就労に力を入れたということ。三つめは市町村が中心となって福祉を行っていくということがはっきりしました。これらが自立支援法の評価すべきポイントです。

そういう意味では、精神障がいの方たちにとっては、地域での新しいサービスが進み、福祉だけではなく就労への道筋が立つという期待はあります。

金子…そうですね。これは期待しなくちゃいけない。そうでないと、また精神障がい者に対する施策が遅れてしまうということになりかねませんから。

— 実際、現状の段階で積極的に評価できる点とは、どのようなところでしょうか？

金子…やっぱり、働くということに対して、より積極的にみんなが考えるようになったことです。

ただ、施行されたといっても、公費負担医療の利用者負担などは別にして、実際の制度が始まるのは10月

プロフィール  
埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科 教授  
丸山一郎 氏

太陽の家、東京コロニーで障がいのある人々の働く場作りに従事。1980～90年、厚生省・身体障害者福祉専門官（総理府・国際障害者年担当室兼務）として障がい者施策を企画・実施。全国社会福祉協議会を経て99年から現職。現在、日本障害者協議会やWI（国際障害者雇用組織）などの活動にも参加している。著書に「障害者施策の発展—身体障害者福祉法の半世紀」（中央法規）、「障害者福祉論」（編著・中央法規）など。



作業風景 (オフィスクローバー)

からのものが大半です。

丸山..そういう面では、まだはっきり効果は見えていない。

金子..まだ、そう。丸山..見えていないけれど、精神障がいの人にとっては期待が大きいです。

日本の障がい者に対する福祉サービスは、これまで障がい別に行われてきました。『身体障害』、『知的障害』、『精神障害』と分けたのは世界に例がなく、進んできたスピードも全然違いました。『身体障害』に対する法整備は57年前に始まっています。それから11年遅れて知的障害者福祉法が施行されました。そういう意味では精神は40年、50年遅れて、ようやくというところではあります。ですから今回の、障がい別の垣根を取り払って「地域でみんな同じ市民としてサービスを受けよう」とい

う考え方は非常にいいと思います。

### 理念に 迫っていない現状

しかし、その一方で法案の段階から多くの問題点が指摘されていますが、より改善を望まれるのはどんなところですか。

金子..障害程度区分の判定には、106の調査項目がありますが、精神に障がいを持つ方のニーズを正しく捉えるような質問項目が少ないですね。身体障がい者のものをベースに

作られておりますから、やっぱりその辺が合っていないのではないのでしょうか。これから当然、見直されるようですが...

たとえば、知ってる方で、働いているんですが高齢でもあるし男性なので、自分の身の回りのことがなかなかできない。それで介護ヘルパーに週に一度、来てもらっているんですけども生活がある程度安定し、安心して働くことができる。直接的な身体的介助は必要ではないけれど、生活面での支援が少しあれば働けると

いう人はずいぶんいると思います。

ですから調査項目の設定はもう少し少し、きめ細かくしてほしいですね。

丸山..本当は障がいに関係なく、必要なサービスをすべて提供できればいいのですが、それは叶わない。そこで一定の事務的な整理をしようというわけです。ただ、今までの積み重ねがないので、その人のニーズを正しく判定できるようにする必要があります。今後の

課題と言っているでしょう。

しかし、もっと大きなことは「応益負担」という方向転換です。従来、障がいの分野ではなかった考え方が導入され、利用者に一定の経済的負担を求めることになりました。

これまでは、障がいを持った人が社会に参加することを、なんとか社会全体で支援してきたわけです。リハビリをして、職能訓練をして、自立してくださいと。子どもが教育を受けて職業に就くまではほとんど支援するのと同じように、当たり前のこととして支援してきたわけです。その方向性が大きく転換されたことは大きいですね。

金子..ただ、障がいのある方の負担という問題もあるんですけど、やはり一般への就労率が悪かったという事実はありますよね。授産施設から一般就職に結びつくのは1%という話ですので「もう少し働くことに熱心になって、一般のところへ出て働ける力をつけましょう」という意図は重要なことだと思います。

丸山..とはいえ当面、費用が逆に援助される職場適応訓練との整合性やその負担金額が適正かどうかといった問題などが、応益負担には出てくるでしょう。滋賀県は障がい者福祉が進んでいますが、国松前知事は自立支援法について「理念はいいけれど、障がいを持った人の実態を見ずに作ったので制度の設計が間違っている」と新聞でこう発言をしています。

## 障害者自立支援法の光と影

金子…いろいろな点で、手直ししなければいけないところがいっぱいあると思います。なるべく早く、みんな現場から声を上げていかないといけないと思います。

### 今こそ現場の声が必要

—では、自立支援法を今後、障がいを持った人の生活向上により活かすために、どうすればいいのでしょうか？

丸山…自立支援法はまだ、別々だった法律の垣根を取り払い、サービスとその財源を整理した段階に過ぎません。

今後、どうやってリハビリテーションをし、地域社会での自立を促していくのか、支援の手が一つの流れに乗って、つながったものとして明示されなければなりません。

金子…そのとぎのために、やはり役所の人だけではなくて、たくさんの方がもつと声を出していかなくてはいけません。これは障がい者や福祉関係者だけに限ったことではありません。高齢者なども含めて、社会的に立場の弱い人たちが普通の生活を社会の中で過ごせるよう——、これを目標にしていかなないと。

丸山…その通りですね。実際、高齢者の半分以上は障がいを持っている人ですから。障がいのある人達の視点から提起された「バリアフリー」



は大きな貢献を社会にしました。今、高齢者から妊婦まで、そして若い人達まで幅広く恩恵を受けています。僕なんかも真つ先にエレベーターに乗りたくなくなるくらいです。（笑）

金子…私も今年脳梗塞やりました。障がいの手帳は持っていないけれど、やっぱりちよつと喋りにくいしフラフラすることもあります。それで私は今、精神に障がいのある人への家の掃除を手伝ってもらったり、庭の木を切ってもらうことなどを、お願いしています。

だから、障がいがあるとかないと

かではなくて、お互いに融通を利かせ、そのときでできる形で助け合うことができたらいんじゃないかなって。そうしたことののための一つのきっかけになってもらいたいし、しないといけないですね。

丸山…今度の支援法で大切なのは、実施主体を市町村に確定した点です。つまり自分の一番身近なところが責任を取る仕組みになったわけ

この結果、今後は市町村が具体的な計画を立てなくてはなりません。我が町や市には、どういう人が何人いて、どういうサービス、支援がどれくらい必要か、全部数字が出てくるわけです。こういうことが地域できちんと議論されることになれば、サービスが向上するのは間違いないでしょう。国の方針ばかりで、現場から遠いところで話が進んでいたこれまでとは違いますから。

金子…現場の声も届きやすくなるので、届けなさいいけないと思います。対応もきめ細かくなる可能性もあり

ますしね。  
丸山…ええ。地域のなかで実際に必要な議論を始めれば、悪い方向へは行かないはずですよ。

金子…そうですね。それと「自立」をより実現させるには、企業との協力も大切だと思います。

そして、できれば企業で働いている人に一緒に働いてもらうのがいいと思っ

っているんです。  
というのは、企業で働く感覚というのが、福祉関係の人には比較的小さくなくて、企業で働いた経験のある中高年の人が一緒に働いてくれるようなサポートの仕組みを作れば、得ることは大きいと思います。企業で働く厳しさや、大変さも、一緒に働かながら力をつけていかないといいませんね。

丸山…障がいの重い人も福祉サービスではなく、きちんと雇用対策の対象とすることが必要です。福祉サイドの人間には今後、企業で働くことを支援する役割を求められるわけで、しばらくは混乱が続くでしょうけれど、自立と参加には欠かせない道程ですね。

金子…施設の職員は、今の仕事も継続し、声も上げ、役割の変化にも対応しなければいけないと、たいへんです。ここを頑張らないといけませんね。

丸山…でないと、せつかくのいい理念も、絵に描いた餅になってしまいます。頑張りましょう。

# 突然の事故で、脳に起こる 目に見えない障がいを知っていますか？



## ～「高次脳機能障害」の現状

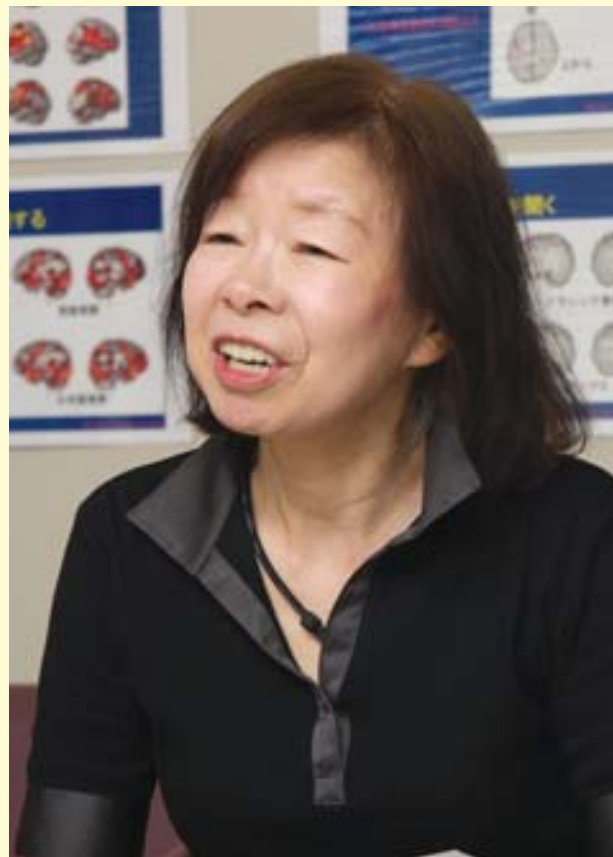


神奈川県総合リハビリテーションセンター  
神奈川リハビリテーション病院 相談科 ソーシャルワーカー

### 生方克之氏

大塚…ほかに階段から落ちたとか、山で滑落した、航空機事故、幼児期に歩行器から転倒し

大塚…受傷原因は、外傷が8割ですね。そのうちの9割は交通事故。約1割は酒に酔うなどしての転倒・転落なんです。生方…ハンドルの握る方には、宝くじの確率よりも身近な問題だと思っています。



NPO法人「脳外傷友の会 ナナ」理事長

### 大塚由美子氏

交通事故などによって、脳に外傷を受け障がいを引き起こすことがあります。

これまではその存在自体がクローズアップされることのなかった「高次脳機能障害」がそれです。

この障がいの実際について「日本脳外傷友の会」を代表して大塚氏（脳外傷友の会ナナ）とソーシャルワーカーの生方氏にお聞きしました。

障がい  
長らく見過ごされてきた

「高次脳機能障害」という言葉を最近、耳にするようになりました。これはどのような障がいですか。

大塚…息子が19歳のとき交通事故に遭いました。18年前のことです。リハビリテーションによって身体は回復しましたが、記憶障害などが残りました。当時、日本にはまだ診断基準さえ存在せず、「高次脳機能障害」という名前を耳にしましたのは、事故から5年程過ぎた頃です。

## 就労に向けて訓練に励む 渡部開さん



街中で見かけたらごく普通の青年にしか見えない渡部さんですが、17歳のとき、原付を運転中にタクシーと接触。以来、7年間リハビリテーションを続けています。

SWの生方さんによると、事故に遭って、初めころは感情のコントロールが難しく、作業所で周囲に対して手を上げてしまったこともあったそうです。

しかし、今では自分の持つ障がいの特徴を確認し、カットしたときの対処法を自分で築いて身につけたので、今は問題なく作業所にも出て、次のステップとして一般就労を目指しています。

現在、苦手なことを訊くと「目上の人に対して、自分の友だちのような態度で接してしまう」ことだとか。事故以前は電気工事関係のお仕事をしていたこともあり「同じ仕事が出来たいんですけど、高いところでふらつくと自信がない」と語ります。

各障がい者にあった職種と理解のある職場——。働く意欲のある渡部さんのような方には、なによりこの二つが必要です。

## 従来の障がい者区分に 合致しない

具体的にはどのような障がい

たなど、いろいろな事例があります。病院で同じように苦勞していた東川さん（現日本脳外傷友の会会長）と出会い、医師や専門家の先生の支援をいただきながら97年に「ナナの会」という家族会を結成しました。そして翌年、当時の厚生省を訪問し、働きかけを始めたのです。

現在には全国17の友の会が設立されていますが、当初は名古屋・神奈川・札幌と3団体で活動し、その結果2001年に「高次脳機能障害」支援モデル事業」という形で国としての研究が決定しました。

いかに悩んでいらつしやるのですか。

生方…新しいできごとを覚えていられない。簡単なことでもミスばかりしたり、二つのことを同時にしようとするとうるさくなる。人に指示してもらわないと何もできない。感情をコントロールできず怒りっぽくなったり、相手の立場を思いやることができなくなると、相手が、一見して障がいがあるとはわかりませんが、挙げられます。意識を持っていない場合がほとんどです。一方で、障がいの出方も程度も人によってまちまちというのも、「高次脳機能障害」の特徴です。当然、支援の仕方も異なってきます。

大塚…うちの息子の場合ですと、まず、記憶障害。これが一番重

いです。それと注意障害も。ただ、記憶と申ししても、今のことはよく憶えられませんが、過去のことはよく憶えています。でも、事故の前後1年間はまったく駄目です。浪人中でしたが、自分がどこの大学を目指していたかも憶えていません。

当時はこの障がいのためのリハビリプログラムというのもない状態でしたから、神奈川リハビリテーション病院に2日通う以外は、私が全部、朝昼晩とプログラムを組みました。たとえば、図書館に行かせる。あるいは自動引き落としになっていた公共料金は支払い方法を変更しまして、月に1回は郵便局に行かせて、払い込みの練習をさせたりとか…。

当時、あるソーシャルワーカー

1（SW）さんにご相談をしたことがあります。すると「このような方をお世話できる施設はどこにもありません。病院もありません。手のかかる人に対応する施設はあるけれども、目のかかる人に対応する施設はありません」と。つまり、歩ける・話せる・動き回れる人に対して、フォローできる施設は現実、どこにもないということでした。

現在、この障がい者で苦しんでいる方の数というのは…。

大塚…全国統計というものがありません。ただ推計では30万人。今、日本脳外傷友の会に入会されている方が準会員団体も含めると約3000人です。

私たちが統計をとり実態把握に努めたいのですが、救命救急医学が発達し、今は2週間程度

## 「高次脳機能障害」とは？

中途脳損傷により以下のことが困難になります。

- 記憶**…人や物の名前を忘れてしまう／昔のことを思い出せない／最近のことが覚えられない
- 注意**…見えているのに気づかない／一度に複数に注意が向けられない／気が散ってしまいやすい
- 遂行**…自発的な行動が取れない／効率的な手順や計画を立てて実行することが難しい
- コミュニケーション**…うまく喋れない／言葉が出てこない／字が読めない、書けない
- 情緒**…感情がうまくコントロールできずに怒りっぽくなる／些細なことで笑う、泣く

で転院されてしまったため、把握できないのです。

会にご相談に来られる方の中には、「すっかり良くなっていくから、もう復職されたらどうですか」と言われて退院されてしまっている方、統合失調症に間違えられて、入院されていた方もたくさんいます。

つまり、医療現場で見落とされたまま就労して、そこでトラ

# 連絡をとってみませんか

## 日本脳外傷友の会

日本脳外傷友の会は2000年に設立された、各地の脳外傷友の会の連合体です。2006年6月現在以下の正会員団体、準会員団体によって構成されています。

日本脳外傷友の会 代表：東川悦子	神奈川県平塚市 TEL: 0463-31-7676
NPO法人 脳外傷友の会みずほ	名古屋市瑞穂区 TEL: 052-836-6046
NPO法人 脳外傷友の会 ナナ	横浜市青葉区 TEL: 046-249-2020
NPO法人 脳外傷友の会 ナナ (東京地区会)	目黒区 TEL: 03-3717-7286
NPO法人 脳外傷友の会コロポックル	札幌市豊平区 TEL: 011-858-5600
NPO法人 脳外傷友の会コロポックル (道東支部)	帯広市 TEL: 0155-24-6974
NPO法人 脳外傷友の会コロポックル (道北支部)	旭川市 TEL: 0166-31-7422
NPO法人 脳外傷友の会コロポックル (道南支部)	函館市 TEL: 0138-2246188
脳外傷友の会しずおか	志太郡大井町 TEL: 054-622-7405
脳外傷友の会さいたま	比企郡吉見町 TEL: 0493-54-8666
脳外傷友の会しが	大津市 TEL: 077-565-0294
奈良脳外傷友の会あすか	奈良県磯城郡 TEL: 0744-33-5980
NPO法人 おかやま脳外傷友の会・モモ	岡山市 TEL: 086-294-1385
脳外傷友の会 広島・ シェイキングハンズ	広島市佐伯区 TEL: 082-943-9303
さんいん脳外傷友の会 らぶ	出雲市 TEL: 0853-21-4830
脳外傷友の会 高志 (こし)	富山県高岡市 TEL: 0766-31-1508
脳外傷友の会 信州	松本市 TEL: 0263-33-8600 須坂市 TEL: 026-242-4165
脳外傷友の会 おおいた	大分市 TEL: 097-546-2755
いわて脳外傷友の会 イーハトーヴ	盛岡市 TEL: 019-639-4177
NPO法人 脳外傷友の会高知 青い空	高知市 TEL: 008-803-4100
NPO法人 ぎふ脳外傷友の会・長良川	岐阜市 TEL: 058-277-6113
脳外傷友の会・ 三重TBIネットワーク	四日市 TEL: 0593-32-7729

ブルを起こし、結局、家に引きこもっていらつしやるような方もかなりの数おられると思います。ニートと言われている方たちの中に、かなりの数がおられるのではないのでしょうか。

## 事故・社会復帰までのトータルなケアシステムを

具体的には、生方さんはSWとしてどのようにサポートを行っていらつしやいますか。

生方…「高次脳機能障害」では、ご自身に障害があることに気づいていない方が多いので、そこに注意しながら進めています。

つまり、中途障がいという特徴がありますので、ご本人やご

家族にまず状況を把握していただくお手伝いを致します。同時に、交通事故の方が多くですから、どのような社会的な制度と関係してくるのか、全体的なオリエンテーションを行います。

というのは、「高次脳機能障害」は、やはりどなたにとってもわかりにくい障がいです。本来、交通事故で受けられるはずの補償や法的な保護を受けていない人も多く、6割ぐらいの方が自分の障がいをうまく把握できていないというデータもあります。

ご家族も、ご家族の一員が急な事故を境にそれまでの「その人らしさ」を失ってしまうわけですから、非常に大きな混乱を

迎え、容易に物事に対処できる状態ではありません。ですから、初期段階ではこういったことを整理します。

また、ご本人が支援の必要性を認識されない場合が多くあります。ご家族もきつとよくなる

だろうと…。一旦退院してしまふと、ご本人は福祉サービスの必要性を感じませんから地域に埋もれたままになってしまいます。やがて孤立化して、それまで培ってきた人間関係も失ってしまいかねません。

我々としては今後、どういったことが起こりうるのか？ そのときにはどういった対応をどこに相談していけばいいのか？

そういった情報提供をしつかり行うようにしています。

そのうえで、1〜3年という中期的な視点での支援を組み立てます。感情コントロールが生活上、一番のハンディキャ

ップになってしまふことも多く、その部分をどうやって目立たなくできるのか。一つひとつステップを踏んで、最終的にはそれぞれに合った就労支援にまでつなげていくのが我々の役割と考えています。

「高次脳機能障害」の方々にとって今の問題点はなんですか？

大塚…まず、本格的な支援を受けるための《導人の部分となる支援》がないのが問題です。受傷後、救命救急病院の治療だけで終わってしまい、社会復帰まで継続した支援体制がないのです。

生方…さらに全国調査によると、福祉サービスを使っている方というのは実際の1、2割なんです。

彼らは、従来の障がい者の区分に当てはまらないため、必要な支援（受けられるサービス）があり

ません。この障がいの方に必要なのは、デイサービスやヘルパーではないんです。

結局、支援者とのつながりが切れて、地域で孤立化する現実があります。

大塚…年齢、社会体験の有無により抱える問題も異なります。当事者が子ども世代の場合には、親亡き後の支援を誰が行うのか。受傷者が夫、妻の場合は、子どもを抱えてどう生活維持を図るのか、そして当事者の世話とくに両立していくのか…。

これらはいずれも切迫した問題です。

生方…「高次脳機能障害」も訓練を通じて、実際1年、2年、3年という単位で力をつけていく方が多く、着実に適応力を付けていきます。適切な支援があれば働ける人がたくさんいます。その可能性を生かすようにしたいですね。

大塚…さまざまな問題がありますが、介護者がいなくても、障がい者自身が生活を組み立てられて、生きていける社会をつくるために、家族会として声を上げていきたいと考えています。

また、現在、孤立しているご家族の方がいらつしやれば、まずは近くの家族会に連絡をとっていただければと思います。





吉見安似さん 荷物を受け取り仕事のスタート。夢は、メール便でお金を貯めて、お母さんにエジプト旅行をプレゼントすること



一筆書きで自分のまわるルートを決めるのも、「従業員」の発見



吉田順一さん ニックネームは社長。自転車の後と前に積み込み出発。「ありがと」と言われて人の役に立っている実感を話す



高橋光夫さん 持ち戻りチェックと、配達記録を記入。俳句で文芸誌に入選した経験を持つ。



壁一面にしつらえてあるのが、大工さんに頼んで作った仕分け棚



## 障がい者の クロネコメール便配達



# 月8万円の賃金を得る人も 2年後には会社設立を目指す 「しごととも」



山崎正明さん 自分たちが配達していると、SDさんが声をかけてくれる。夢はヤマトのドライバーになりたい



雨の日のビニールバック。助成金で導入、PPもラップに巻くことで、雨に濡れずビニールの上から操作が可能に

『しごととも』は世田谷区にある社会福祉法人「はる」が運営するクロネコメール便配達事業清掃事業を行う部門です。最初は、パイ焼き窯に入所し技術を習得した障がい者が、入所の期限を過ぎて『就労の場』がなく、その受け皿を作るという発想からこ

の事業をスタートしました。スタート時(04年11月)は、床に座り込んで仕分けを行い、一人がカートを押し、一人がポストイング、そこにコーディネーターがつき、3人体制で配達を行っていました。その頃は、全員(8人)で1日150通の配達をやった状況だったので。半年ぐらい経った頃、床に広げて仕分けする場所が狭くなったため、現在の場所に移動。そのうちコーディネーターの一人が、仕分け棚を作ることを提案し、仕分けが目に見えてスピードアップしたので。

しかし、皆がそれぞれ自立できるようにするには、まだまだです。コーディネーターは、『従業員』にエリアを増やすことを提案し、『従業員』も納得しました。目に見える形で成果が上がリ、従業員の働く意欲が出てきたのです。現在では6エリアを担当。カ

ートから自転車にも変更しました。特筆すべきは、雨の日のアイデア。雨に弱いPPと荷物がぬれないようにするため、みんなが苦労していたのを見かねて、クリーニングのビニールバックをメール便に使うことを考えたのです。これなら一通ずつ袋に入れるよりも簡単にできます。そして現在は『従業員』7人でシフトを組み、1日5人稼働で土・日も営業(月曜日休)。1日平均で1000冊(1日1964冊の実績あり)をこなし、シフトを組むことや、集計後センターへのデータ送信まで、『従業員』の手で行っています。

利用者や『従業員』と呼び、給与や運営に至るまで、『従業員』と相談しながら進める信頼関係があります。『しごととも』の名前の由来は『仕事と共に生きる』という言葉を短くしたもの。2008年に会社設立を目指しています。

社会福祉法人「はる」しごととも  
世田谷区内に在住、在勤する精神障がい者ならびに高齢者が対象  
「はる」が運営するパイ焼き窯で訓練した修了生を中心に運営  
メール便事業部、清掃事業部の2部門制  
障がい者メイト 7名(6月7日現在)

「障がい者クロネコメール便配達事業」  
問い合わせ先：ヤマト福祉財団 押尾  
Tel 03-3248-0691  
E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp

# 一人でも多くの一般就労を目指す ヤマト自立センター 「スワン工舎新座」 始動！

## STEP by STEP

障がい者の一般企業への就職を支援する  
「スワン工舎新座」が5月23日に開設しました。  
パンの製造や販売、クリーニング業務といった  
職業訓練を通じて、一般就労を実現するための力を、  
利用者\*に養っていただくのが目的です。



「スワン工舎新座」開所式 2006年5月23日



開店を待つスワンベーカリー新座店



あいさつに立つ山崎篤・ヤマト自立センター理事長



駆けつけた山本雅之新座市助役



パンカットでオープニング



白いユニフォームが眩しいベーカリースタッフと青いエプロンのランドリースタッフの紹介



開店日のお客さまには牛乳のサービス

### 社会福祉法人 ヤマト自立センター スワン工舎新座

新座市菅沢1-3-1  
TEL 048-480-3367  
FAX 048-479-5873  
鉄骨造 2階建・延べ床面積371.20m<sup>2</sup>

4人乗り得エレベータ1機

- パン事業：店舗/パン置き台、レジ台、冷蔵ショートケース、レジ等  
厨房/冷蔵庫、リターダー、ドロン、オープン、ほか厨房一式
- クリーニング事業：洗濯機2台、乾燥機2台、乾燥仕上機1台、プレス機2台等

## ヤマトグループで 初めての通所型授産施設

『地域社会から信頼される企業』として『ヤマトグループは、地域の一員として信頼される事業活動を行うとともに、障害のある方の自立を願い、応援します』と、ヤマトホールディングス株式会社は障がい者支援をその企業姿勢に明記しています。

その企業姿勢を実践する、ひとつの試みとして、社会福祉法人ヤマト自立センターが昨年夏に認可されました。そして、ヤマト運輸の土地提供、建設費用の寄付を受け、今年5月23日に「スワン工舎新座」がオープンしました。これはグループで初めての通所型授産施設です。

スワン工舎を通じて一人でも多くの方が、社会参加できることを願い、\*利用者が「スワン工舎」を巣立って、スムーズに就労に移行できるよう支援することになっています。

## 作業を通じて伝えたいのは「働く」ということ

「工舎」の名の由来は、奈良で若者にじっくりと宮大工の技術を伝え、自立させている小川三夫棟梁の「いかるが工舎」に



パン製造に励む利用者。交番を組み、早番は7:30から勤務している



埼玉主管支店での出張販売も行っている。人気も上々で1日150個ほどを完売



店内ではコーヒーをお出しする用意も



クリーニングは各工程が独立しているため、スタッフの交代など融通が利く



開店からにぎわう店内、オープンの日には200人以上のお客さまが

#### ※ 利用者

福祉施設で働く障がい者のことを『利用者』と総称します。一般社会で働けるようになるために訓練施設を利用している、という考えからそう呼ばれています。また、施設から受け取る賃金は、雇用契約ではないため、『工賃』と呼ばれ、月当たり10,000円に満たない施設が多いのが現状です。



クロネコメイトの制服を、一つひとつ仕上げる



現在ランドリーでは11名のスタッフが熱心にクリーニングを行っている

ています。

一般社会において就職し、生活に必要な賃金を得ることが自立につながります。スワン工舎には「自立するための力」を1人でも多くの利用者につけられるよう、大きな期待が寄せられています。

### 寄せられる 大きな期待と責任

店されました。

一つていねいに洗濯しています。近隣には印刷工場なども多く、いずれは宅急便とも連携して受注を広げていくのが目標です。また、スワンベーカーリーの評判を聞きつけ、オープン初日は200名以上のお客さまが来店されました。

あやかりました。人を育て、自立を助けるマインドが「スワン工舎新座」の志です。

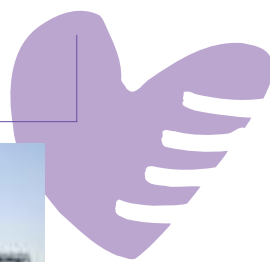
今、工舎では2年間という区切りを設け、19名の利用者がそれぞれ、施設内の「スワンベーカーリー」と「スワンランドリー」で、就労訓練を受けています。

スワンベーカーリーはチェーン店として22号店目。ランドリー事業は新規の試みです。特徴は環境にやさしい水洗いで、大口の作業着に特化して営業。現在はクロネコメイトの制服を1日150着ほどのペースでひとつ一つ

財団支部の取り組みをご紹介します。

# ハートフルステーション

## 東京支部



東京主管支店（江東区有明）

財団は全国に11の支部があります。  
各支部では地域に密着した障がい者自立支援の  
活動を行っています。

今回は福祉助成金事業に申し込み、  
施設の改善に活用した作業所ボンエルフと  
東京支部の活動を紹介します。



水道管工事に使う針金の加工（ビニタイ）や紙袋製作、  
手芸品の製作を行っている。

### 助成金事業を通じて 地域に密着

東京都荒川区・JR常磐線の  
三河島駅のホームから見える  
旧・真土小学校。廃校になった  
校舎は現在、地域福祉や生涯教  
育に利用されています。社会福  
祉法人荒川のぞみの会「作業所  
ボンエルフ」はその校舎内の一  
画にあります。

かつては教室だった名残り、  
黒板上の天井に、真新しい冷暖  
房装置が見えます。これは、財

団の助成を受けて、つい数カ月  
前にやっと取り付けられたもの。  
廃校利用のため構内の設備は  
古く、ガムテープで留めてあつ  
たほどぼろぼろの冷暖房機は、  
まったく用をなさない状態。昨  
年、荒川区福祉協議会の広報誌  
に財団の〈障がい者福祉助成〉  
の募集を見つけ、すぐに応募し  
たそうです。

こうした申請は、まず書類審  
査を経て、実際に申請内容の確  
認を各支部で行います。東京支  
部はその申請数も特に膨大。前  
年度は実に182件にも上り、  
手分けをして確認作業を進めて  
います。

そして、作業所ボンエルフを  
訪れたのは、この地域を担当す  
る北東京主管支店・日暮里エリ  
ア支店の神田博エリア支店長。  
以前、北東京ベースで障がい者  
と一緒に働く機会もあったそう  
ですが、実際に授産施設を訪れ  
るのはこれが初めてのこと。

「教室跡を利用した作業スペー  
スには本当に古いエアコンしか  
なく、夏冬に仕事をするにはか  
なり厳しい環境でしたので、実  
態に沿ったうえで助成の必要性  
を訴える評価を添えて、本部に  
審査書類を上げました」

またそれと同時に、作業所で  
の仕事内容などその実情を知  
り、正直ショックを受けたとい



ボンエルフのみなさんと神田エリア支店長（右）



このように（障がい者福祉助成金）審査に関し、どんな状況で活動しているのか？ 助成することが本場に役に立つのか？ 東京支部ではこの膨大な作業を、会社の協力を得て、実際に各地

### 現場スタッフも一緒に活動を展開



「この仕事が一番楽しい！」社歴が2番目に古い奥田裕朗さんは荷物を後ろ手でピックアップする華麗な手さばき



積み込みの作業をする井上博人さん（右）と西島滋夫さん（中央）はともに入社5年

域を担当する安全指導長やエリア支店長が分担して行っています。

また、障がい者雇用についても積極的に力を注ぎ、東京支社では現在139名（法定雇用換算数167名）の障がい者が働いています。支社内のベースでは障がいのあるなしに関わら



仕分けの要「キーヤー」を担当する奥山俊さんは入社6年のベテラン。もともとゲームが好きということもあって、午前中から午後まで、もくもくと疲れを厭わずゲーム感覚で仕事を愉しんでいます

ず、皆とでもリラックスした雰囲気でも打ち解けて仕事をしています。案ずるより産むが易し。まずは雇用してみる。そして、少しずつでも各自ができることする——。それが東京支部では好循環を生んでいるようです。



助成で新しく設置された冷暖房設備

います。その後、業務用冷暖房機とプ口用ミシン購入目的とする、ボンエルフの申請は認められ、今年の春、待望の新しい冷暖房機が設置されたのです。今回の経験を通して神田エリア支店長は、障がいを持つ方々が実際どういう状況にあるのか。まず、こうした事実をきちんと知ることが大事だと強く感じたそうです。

また、地域に密着したエリア支店でもできることはないかと考え、複数の宅急便センターが同居している事業所で、試験的に知的障がいの方を1名雇用。集荷の荷下ろし作業にあたってもらう試みを始めました。助成活動を通じた出会いから学ぶことは多いようです。ボンエルフのみなさんも、その素敵な笑顔ですますますが、ぜひってください。

## 2006年度のパワーアップセミナー始まる



基調講演を行う山崎理事長

6月22日の北海道を皮切りに、パワーアップセミナーがスタートしました。基調講演で山崎理事長は、「ヤマトの社長として顧客第一主義、全員経営を理念とする小倉イズムを実践した経験を活かし、福祉の分野で小倉前理事長の意志を継承してゆきたい」と話しました。



マイ仕事の発表

また、今回は初めての試みがあります。一つは、参加者が実際に取り組んでいる「マイ仕事」を全員が発表し、グループ討議でさらに掘り下げ、情報の共有やバージョンアップのヒントを参加者自身が探りました。もう一つは、クロネコメール便配達事業を手がけている施設長とヤマトメール便センタースタッフがベアで事例発表を行い、仕組みや仕事の手応えなどを紹介しました。今年のパワーアップセミナーは、全国6カ所で10月まで行われます。

### 明治学院大学で、 スワンペーカーリーが 販売を始めました（赤坂店）

明治学院大学社会学部の現代GPプロジェクト(共生社会の実現への『教育支援』と『障がい者雇用』)の一環として、明治学院大学から要望もあり、月1回の出店が実現しました。スワンサポーターと呼ばれる大学生のボランティアとスタッフが一緒に販売することで、障がい者とコミュニケーションをとり、相互理解を深めることが第1段階の目的です。引き続き、大学生との交流を通じて、障がい者雇用を少しでも理解していただく行動をしていきたいと思います。



スワンサポーターの大学生さんと一緒に



## 31カ所ものルート販売で スワンネットの月間販売状況で 高い実績を持つ穂積園



表示物の色塗りをする員生

社会福祉法人みのり福祉会「穂積園」  
大阪府茨木市/  
障がい者小規模通所授産施設  
知的障がい者17人

モヤタマネギをスワンネットから購入して、員生(穂積園では作業所で訓練を受ける障がい者をこう呼ぶ)が近くの公園などに売りに行ってもなかなか売れませんでした。そこで、販売ルートを開拓し、大口の注文を取るようになったのです。

今では保育園の給食用(20キロ単位)や袋詰めにした野菜を会社関係に販売。員生の仕事は、商品の検量・袋詰め作業と、商品名・価格を表示する用紙の作成です。

また、野菜だけでなくラーメンやトイレットペーパーなど取扱商品も広がっています。その販売先がなんと31カ所、月間販売重量は、405キロ(5月)の実績があります。1店あたりの月平均が90キロ(スワンネット調べ)ですから、頑張っている実績がおわかりいただけるはずですよ。

# スワン ネット

swan net

つながるビジネス

穂積園が野菜の販売を始め、渡辺施設長が小倉前理事長の講演を聞きに行ったことがきっかけです。最初はジャガイ

# 平成18年度 助成先決定一覧

## ■施設の改善、備品購入

地域	障がい者施設・団体名	申請事業と物品名	決定額
北海道	おはよう共同作業所	浴室改修工事に伴う付属工事	970,000円
北海道	函館夢ファクトリー	水洗トイレ設置にともなう備品及び排水工事暖房設備工事及び配管工事	800,000円
北海道	工房ウディートイズ	コードレスインパクトドライバー・糸ノコ盤用替刃	100,000円
北海道	はあと地域共同作業所	車椅子でも使用できるトイレの改修工事	500,000円
北海道	大葉毛地区共同作業所	軽トラック4WD	970,000円
青森	社会福祉法人愛生会知的障害者更生施設育松園	「メール配達用車両購入」	600,000円
岩手	精神障害者小規模作業所きぼうハウス	「リサイクル資材運搬用車輛購入」(トヨタ、ハイエースバン4WD・ニッサン、キャラバンバン4WD)	800,000円
宮城	NPO法人・ガンバ・ベッチャー	施設内の換気扇・洗し台・クーラー等整備	450,000円
宮城	社会福祉法人わらしべ舎	カレーショップの付属の建物として、レトルトカレーの保存用の食品庫の増設	600,000円
宮城	すまいる作業所	包装機(豆腐用)	600,000円
秋田	造所作業所工房JOYあくる	石油陶芸がまき購入	800,000円
山形	小規模作業所フラワークート米沢	車輛購入事業	900,000円
福島	NPO法人鹿嶋町精神障害者の生活を支援する会	無農薬青ばた豆腐づくり事業	700,000円
福島	小規模作業所みずき共同作業所	トイレ改修工事と休憩室の増築	900,000円
福島	NPO法人なぎのいえ	バリアフリーのトイレ	800,000円
茨城	障がい者福祉作業所「工房ふくろう」	業務用ホイロ(ドウコン)	800,000円
栃木	障害者福祉作業所那須烏山市あすなろ作業所	キャッシュディスクプログラム(パソコン付レジスター)	600,000円
群馬	渋川市手をつなぐ育成会	スーパーレストラン(丸ゴム) 切断器	250,000円
群馬	社会福祉法人前橋市社会福祉協議会前橋市宮城福祉作業所	農作業用機械(耕転機)	370,000円
埼玉	ぶどうの会	作業所入口改修工事	700,000円
埼玉	社会福祉法人ヤマト自立センター	授産事業(パン・クリーニング)用軽車両の購入	700,000円
埼玉	社会福祉法人もくせい福祉会	業務用厨房機器購入および店舗テナント取替工事	500,000円
千葉	かっぱの家	たい肥の製造用機械購入	700,000円
千葉	特定非営利活動法人青空の会	青空ハウス1号ユニットシャワー設置	700,000円
東京	ワーク&ショップ(はらっぱ)	弁当作業場(授産活動)の改善、改修工事	600,000円
東京	社会福祉法人つばき土の会めぐらの家	缶ベコ機再整備事業	600,000円
東京	社会福祉法人ドリムヴィ	ミキサー	500,000円
東京	社会福祉法人はる社会就労センター・バイ焼き窯	クッキーカッター	630,000円
東京	株式会社 スワン	ピクチャーレールの取付け工事	270,000円
東京	リサイクルショップ不思議屋	配送用軽自動車の購入	600,000円
東京	社会福祉法人虹旗社あしたの会 第4福祉作業所弁当屋のーまらい	宅配分当用車両	600,000円
東京	特定非営利活動法人工芸技能研究所	西陣織機・ミシン・漆芸材料一式	800,000円
神奈川	地域作業所「なかだ」運営委員会 地域作業所「なかだ」	第2作業所(うらんど店)開設のための製麺機購入	600,000円
神奈川	F i n d W o r k 新羽	はたおり機購入とその他備品購入	300,000円
神奈川	社会福祉法人明星会竹の子ディス・ビスセンターパン工房「ハッピー」	パン販売用車両購入	600,000円
新潟	のんびり青山の会 のんびりサックス	真空包装機	500,000円
新潟	新潟市手をつなぐ育成会	施設の主力自主製品「ごませんべい」の過年の安定した製造・販売を図る事業(ミキシング機他)	500,000円
新潟	福祉作業所そのみの家	業務用冷蔵庫	550,000円
富山	小矢部市第一あけぼの作業所	パソコン一式	190,000円
富山	共同作業所憩いの家	生活訓練、生活支援及び自立向上のための支援事業 一 厨房設備一式	700,000円
石川	みずき会ワークショップ野の花	ペーカリーオーブンとその設置の併なう電気工事費	700,000円
石川	社会福祉法人ひびき	カラーレーザープリンター一式	700,000円
福井	はす工房花里音・通所施設・蓮華の郷	パン製造用ドウコンディショナー購入事業	700,000円
福井	社会福祉法人ハスの実の家 ハスの実わくわくワーク	焼菓子保存用の冷凍庫	600,000円
山梨	都留福祉作業所	有機野菜づくり、農地(6反歩)「トラクター1台」	800,000円
長野	社会福祉法人くりのみ福祉会 くりのみ園	農耕用乗用トラクター購入	600,000円
長野	NPO法人ハンディハッパしあわせサポートクラブクロスロード上山田共同作業所	「廃油リサイクル事業」バイオディーゼルの精製・販売事業の設備整備事業、「ストックヤード」	600,000円
長野	特定非営利活動法人お仕事チーム	小規模店舗、個人向けハウスクリーニング事業用 軽ワゴン車購入	700,000円
岐阜	特定非営利活動法人ひなたぼっこ	屋根等の改修事業	600,000円
岐阜	特定非営利活動法岐阜羽鳥 ボランティア協会内	だんご成型機及び真空包装機	700,000円
静岡	特定非営利活動法人Mネット東遠精神障害者共同作業所フレッシュベーカーリー	ラベルプリンター	250,000円
静岡	ウイン作業所	コンベアテーブル付作業台	400,000円
静岡	社会福祉法人焼津福祉会生活訓練ホームゆりかもめ	多目的ルームの床の貼り替え	500,000円
愛知	社会福祉法人輪音	耕運機	150,000円
愛知	特定非営利活動法人たんぼハウス	車イス用体重計の購入	310,000円
愛知	むつみ会作業所ステップ1	クロノコメール便配達のための自転車	120,000円
三重	心身障害者小規模作業所さらい	パン焼成室の改修工事	700,000円
三重	特定非営利活動法人みすぎ杉の実福祉会	倉庫の新設	700,000円
滋賀	ワークショップぶくぶく	(木工機械) ベルトディスクサンダエアコンプレッサー	400,000円
滋賀	茗荷塾ワーク・ショップさかもと	トイレの増設	660,000円
京都	ゆりかもめ共同事業所	屋根瓦の葺き替えとトタンの取り替え	400,000円

地域	障がい者施設・団体名	申請事業と物品名	決定額
京都	特定非営利活動法人洛南福祉会 J A C S	「屋台コーヒー販売」屋台道具一式他	500,000円
大阪	特定非営利活動法人さんさん泉南	作業場・トイレの設置	700,000円
大阪	ユウの家	パン製造販売における什器・備品の購入〔(カントリーミキサー・ドウ・コンディショナー)〕	700,000円
大阪	大田市肢体不自由児者父母の会 通所施設あじさいの家	シャワー室設置・トイレ改装	600,000円
兵庫	江井ヶ島作業所	便所改修工事事業	640,000円
兵庫	障害者小規模作業所ネットワーク神戸(中央)	トイレの改修工事	500,000円
兵庫	小規模作業所じゅうしん須磨寺	職業用ミシンとロックミシン各1台アイロン、アイロン台各1台	200,000円
奈良	王寺町福祉作業所	焼き菓子製造用オーブン購入	500,000円
和歌山	南紀ひまわり作業所	真空包装機(シーラー) 購入	240,000円
鳥取	社会福祉法人砂丘福祉社会砂丘福祉作業所(小規模)	クーラー設置(6馬力相当)	600,000円
鳥取	ストーク作業所	ビニールハウス2棟(D棟・E棟) 新設工事	600,000円
鳥根	掛合吉田障害者共同作業所	送迎用車両の購入	600,000円
鳥根	温泉津町障害者共同作業所どんぐり	「作業用具及機械」(電動糸鋸盤、丸鋸盤、糸鋸、電動カンナ、集塵機付作業台、集塵機他)「縫製用機械	600,000円
岡山	社会福祉法人ひまわりの会知的障害者授産施設ひまわりの園	障材材料表示ラベル発行機及びラベル発行システム	300,000円
広島	未来館	コンベクションオーブンの購入	800,000円
山口	あさがお福祉作業所	施設の修理事業(雨漏れ) 屋根の修理代及び廊下の修理	600,000円
徳島	小規模作業所「ハッピースマイル」	軽自動車(物品運搬)	600,000円
香川	NPO法人Csクリエイション 共同作業所コスモスの家	商品販売用車両購入	600,000円
愛媛	共同作業所アクティブマインド	エアコン購入	150,000円
愛媛	たんぼ福祉作業所	業務用オープン	950,000円
高知	共同作業所きつと	業務用厨房器機	600,000円
高知	いの町手をつなぐ育成会 作業所ら・ら	備品購入「洗濯乾燥機」	130,000円
福岡	スリーエヌ(3N)	トイレの改修工事	550,000円
福岡	視覚障害者小規模共同作業所あいつ	ブレイルノート	350,000円
佐賀	特定非営利活動法人NPO小栗の家	移動販売用車両整備事業・軽商用車箱型バン	800,000円
長崎	ボラール	小規模作業所マザーワート(店舗、厨房、階段の改修工事)	600,000円
熊本	共同作業所玉ききぼうの家	フロアの張り替え(全面畳部分を床張りに改善)	340,000円
大分	社会福祉法人希望の森	菓子パン製造機の購入	700,000円
宮崎	小規模福祉作業所まる	送迎用兼販売用車両購入	600,000円
鹿児島	精神障害者小規模作業所 きぼう館種子島	通所送迎用の自動車購入	600,000円
沖縄	特定非営利活動法人マーズ	作業場の改善及び備品購入事業「冷凍・冷蔵庫・プレハブの改修他」	800,000円

## ■各種会議・講演会・研修事業

地域	障がい者施設・団体名	申請事業と物件	決定額
東京	特定非営利活動法人全国精神障害者就労支援事業連合会	精神障がい者の雇用・就労促進会議(旧称、全国精神保健職研究会、毎年1回17回実施)	600,000円
愛知	特定非営利活動法人高浜南部	障害者の理解・企業雇用を促進するための講演会 まちづくり協議会	400,000円
岡山	NPO法人おかもやま脳外傷友の会・モモ	脳外傷友の会第6回全国大会 in おかもやま	250,000円

## ■各種出版・啓蒙活動

地域	障がい者施設・団体名	申請事業と物件	決定額
大阪	特定非営利活動法人ゆめ風基金	障害者市民防災提言集	660,000円

## ■各種調査・研究事業

県名	障がい者施設・団体名	申請事業と物件	決定額
		該当なし	

## ■文化事業・スポーツ活動

地域	障がい者施設・団体名	申請事業と物件	選考金額
鳥根	障害者共同作業所ピンキョ	障害者クリエイターと地元クリエイターとのコラボレーションによる第1回しまねTシャツフェスティバル	700,000円
佐賀	佐賀セラミックロード車いすマラソン実行委員会	佐賀セラミックロード車いすマラソン大会2006	300,000円

平成18年度 障がいのある大学生の奨学金供与先(入学されている大学名) 本年度は34名の方に月額5万円を供与いたします。(返済不要)

大阪市立大学／神戸市外国語大学／宮崎公立大学／桜美林大学／同志社大学／熊本県立大学／神戸学院大学／四国学院大学／金城学院大学／創価大学／法政大学／東京富士大学／大東文化大学／多摩美術大学／桃山学院大学／桜美林大学／工学院大学／桜美林大学／沖繩大学／広島大学／首都大学／大阪体育大学／沖繩大学／放送大学／四国学院大学／京都文教大学／東洋大学／山口大学／名古屋大学／立命館大学／埼玉大学／鹿児島大学／高知大学／同志社大学／

# ART HEALING

アーティスト集まれ!!  
スワンロハスをコンセプトに  
ギャラリースペースとして開放しています。

「ゆっくりとやさしく」…、健康的で環境にも良いこと、そして障がいのある方のためにもなる場所。スワンカフェは、画廊の街・銀座の立地を活かし、芸術を志す人を応援するために、アートスペースを無料で開放しました。

今年5月のクロネコアート展を皮切りに、随時アート展を開催しています。芸術の情報発信スペース、スワンカフェにお立ち寄りください。



クロネコアート展の優秀作品を展示 (5月)



パステル画の荒井彌生氏作品展 (6月、赤坂店でも展示)

**[今後の予定]**

9月 きょうされん「働く仲間のうたカレンダー」の中から、優秀作品を展示

10月 森岡 純 「東京の街」写真展

**[アートスペースに関するお申し込み・お問い合わせ]**

TEL (03) 5148-5860 店長 白井まで  
(作品はスワンカフェでオーディションをさせていただきます)

## ヤマト福祉財団全国支部連絡先 (ヤマト運輸(株)内)

支部	事務長	連絡先
北海道支部	加藤房男	TEL.011-891-5040
東北支部	平井 忠	TEL.022-374-8065
東京支部	名古屋健史	TEL.03-5564-3705
関東支部	森田雅哉	TEL.03-3471-9016
北信越支部	酒井 貢	TEL.025-231-9512
中部支部	木村 叔功	TEL.0561-61-5111
関西支部	石田久雄	TEL.06-6414-5400
中国支部	竹下憲雄	TEL.082-849-1451
四国支部	越智久美子	TEL.0877-46-7875
九州支部	目野和彦	TEL.092-931-3340
沖縄支部	松茂良興三	TEL.098-840-3605



東京支部に名古屋健史新事務長が就任  
よろしくお願ひします。



関東支部に森田雅哉新事務長が就任  
よろしくお願ひします。



沖縄支部に松茂良興三新事務長が就任  
よろしくお願ひします。